

# 陸自オスプレイ緊急着陸

## 静岡 ギアボックス内に金属片

陸上自衛隊木更津駐屯地(千葉県木更津市)所属のV22オスプレイ機が8月31日、静岡県焼津市の航空自衛隊静浜基地に「予防着陸」(緊急着陸)しました。訓練のため静岡

県沖上空を飛行中、予防着陸を促すランプが点灯し、最寄りの同基地に着陸しました。防衛省北関東防衛局は、

同防衛局はエンジンの動力をローターに伝達するギアボックス内部に金属片ができたのが原因だとして当該機の整備を行う考えを示しましたが、「設計技

術上の課題ではなく、運用する上で一定程度生じる部品の摩耗である」と述べ、陸自オスプレイは飛行を見合わせず運用を続けるとしています。

防衛省は、米海兵隊のMV22オスプレイの墜落事故(昨年6月に米国で発生)の報告書公表を受け、7月22日から陸自のオスプレイの飛行を見合わせましたが8月14日に再開させていました。

同報告書は墜落事故の原因をオスプレイ特有の不具合である「ハード・クラッチ・エンゲージメント(HCE)」と結論。同防衛局は今回の緊急着陸の原因は「HCEではありません」と否定して

います。陸上自衛隊のオスプレイは2020年7月から木更津駐屯地に暫定配備。佐賀空港(佐賀市)への配備が狙われています。